

アサヒグラフ

1980 1-11 増大号
特価420円

特集▶ **大東京風船旅行** スモッグの下に
見たものは?

▶ **現代「占い」考** 80年代占いづくし・横井伯典師
の占い談義・ルポ—占いの風景

東京・港区元赤坂 迎賓館

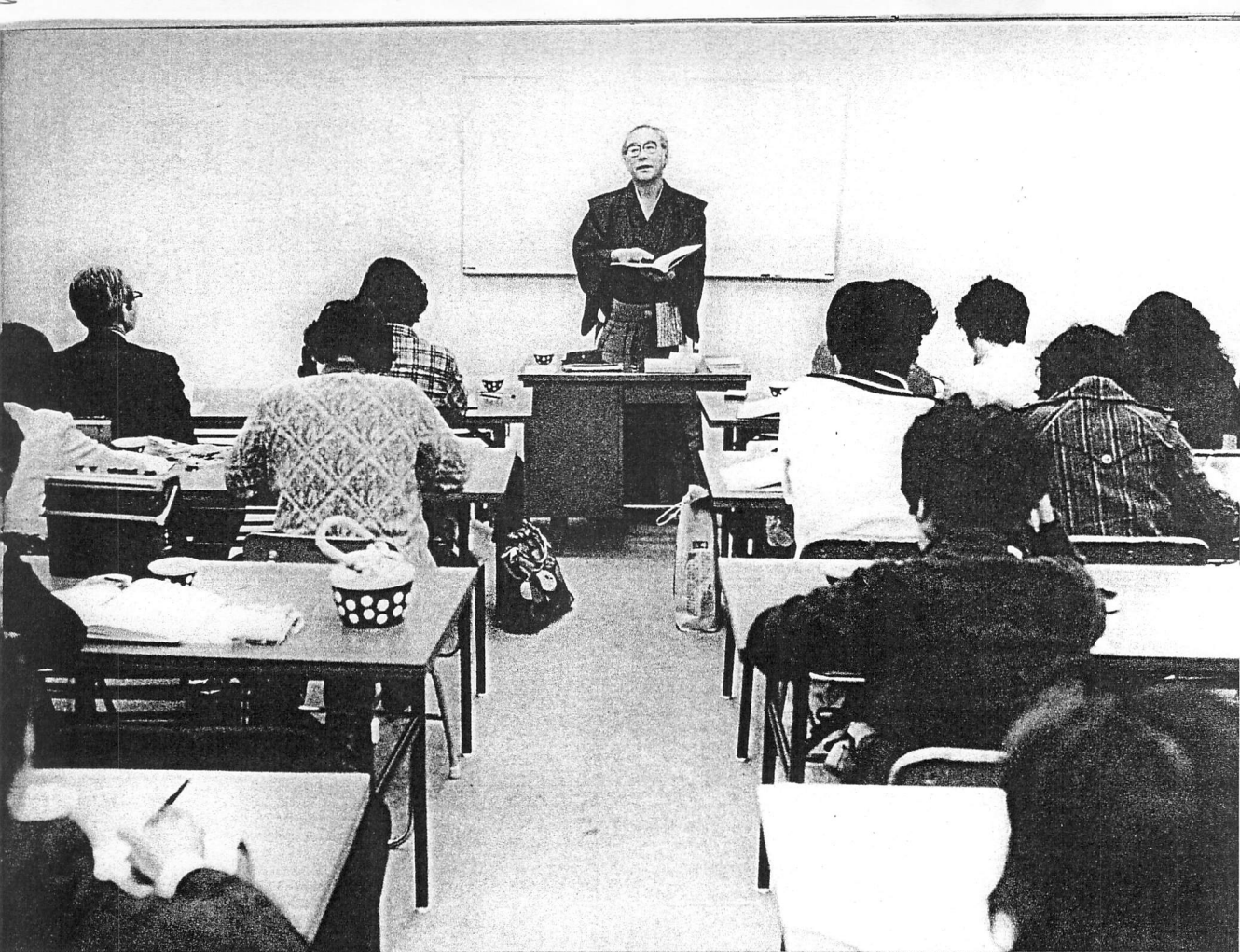


「占いがやる時代はよくない」 易学の「一匹狼」横井伯典氏大いに語る



「占筮する時は精神集中が大切なんだ」

「世の中どうかしてるよ。自分で物を考えることができなくなっちゃった。それですぐ占い師の所にやってくる。家庭のしつけがなくなってないからね。占い師には結構な時代が続くというわけだ」——横井伯典さん（54）は東京・築地に鑑定所を開く易者である。この道二十五年、歯切れのよい放談は、現代世相への厳しい批判にもなっている。



毎朝6時から隅田川を渡って走る 「いまはマージャンもやめ健康的な生活だ」

伊豆・西海岸



美しい海、
きれいな湯

土肥温泉
政府登録国際観光旅館

ホテル
みなみ荘

電話(とい)05589(8)1123(代)

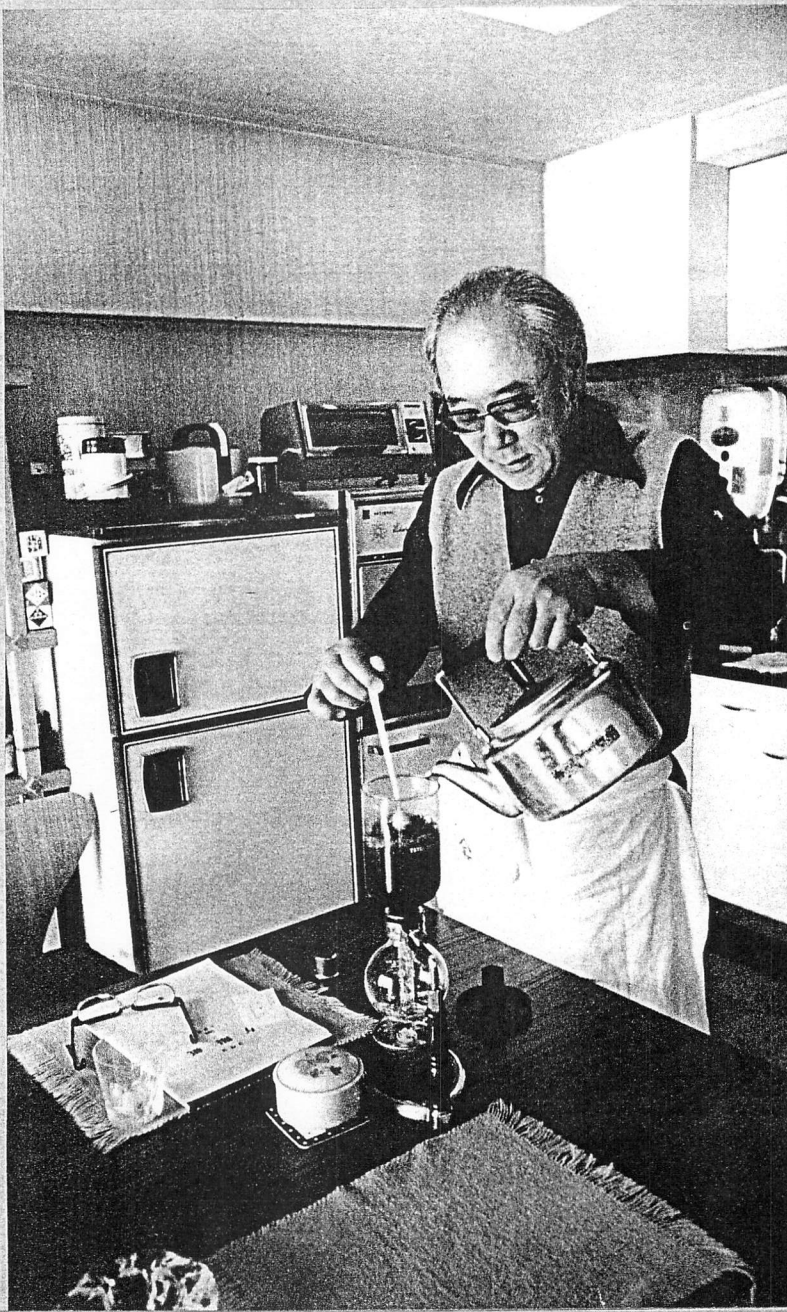
七月、旧館は装いも新たにオープンします。ご期待ください。

夏のご予約承っております。
1泊2食8,000~20,000円
東京案内所(986)7255~6
名古屋案内所(951)3737

本誌12月7日号広告掲載で
只今休業中と誤って表示し
ましたが、従来の新館は平
常通り営業しております。
お詫びして訂正させていた
だきます。 扱店

火曜日夜は築地のマンションで 水曜日は駿河台
の「主婦の友文化センター」で講義 「おれは長屋の隠
居 お前たちは熊さんハツつあんみたいなもんだ」

練馬の自宅には土 日と帰るだけ 週日は築地
鑑定所で自炊生活 「料理するのが好きでねえ」



易者とは自分を律しうる人間のことだ

占いは太古、金持ちのおもちゃだった。権力者が自分の権力を守るために考え出したんだ。民という字は、人間を鋭い針でひと突きして、めくらにした状態を表している。逃亡を防ぐためにめくらにした奴隷なんだよ。めくらにしても奴隷は逃げて行くさ。それを防ぐために、占いが使われた。

こつちへ行くと悪いことがあるよ。あつちへはもっと危険だよ。なんてね感情コントロールだ。「苛政は虎よりも猛し」。いくら肉親が虎に殺されても、いい君主のもとには住むもんだ。善政も一種の感情コントロールだ。めくらになくても逃げなくなるのさ。

易も権力者や王の立場でしか考えない。「鼎」卦を見てもらふよ。「妾を得てその子に以ぶ。咎なし」とある。どうだい、子孫を残すためには妾腹でもいい、というんだ。占いが我が国庶民の間でかくも猖獗をきわめるようになったのは、戦後のことじゃないかな。

横井さんは十九歳で裁判所書記官になり、その後経済警察官などもつとめた。二十四歳で役人生活をやめ、化学薬品問屋などいろんな商売に手をそめたがうまくいかず、易に開眼、本格的に勉強し、二十九歳で「日本開運学会」を創立、この道に入った。

昭和四十二年から四十五年ま

ではNET（現テレビ朝日）の「アフタヌーン・ショー」に出演、明快な理論で多くのファンを得た。「当たる易」「用気術」など多くの著書がある。

現代人は自分で考えない

なぜ占いがはやるのかね。現代人は忙しさにまかせて自分で何も考えないからだね。この前相談に来たおばさん、大正十年生まれだ。「私、これからどう生きたらいいでしょう」って。

「あなた、何不自由ない生活をしていすねえ。趣味もないよ。うです」って聞くと、「そうなんだよ」と我慢顔だ。「それで、何をしたらいいでしょう」「人のためにつくすボランティアをやれ」とすすめた。

大阪から若い男が来て「すっかり生きる自信をなくしました」といふ。放送局の就職試験を受けたが、軒並みだめだった。そこで「お前は今まで一度でも自信を持っただけの努力をしたことがあるのか」って聞いたら、へえっという顔ををした。大学出てるんだから、まあしな頑強なんかしやしない。「四年がかりで税理士資格を取りたい」というから、「三年で受かるような意気込みでなくてはだめだ」ってハッパかけたら、すつとんで帰っていった。こつちにすっかり乗せられたんだね。若い人には「どうするか」でなく「どうするか」という考えを徹底的

にたたき込まないといかん。

こういうことは、昔は家庭でやったもんだ。それがしつけどよ。「家人」の卦に「家止しくして天下定まる」とある。父親は父親らしく、母親は母親らしく、子どもは子どもらしく、これは大切なことだ。「安んずる」という字は、家の中に女がいる、マイホームを建てたらローンが大変だ。母ちゃんはおバートに

出る。子どもは冷や飯食ってる。これじゃあ、しつげができるわけがない。

サラ金地獄が社会問題になったことがあるが、新聞も社会面でサラ金をたたきとり、家庭面でもサラ金を借りようという道のように、結局まわり道のようにも自分で貯めるしかないです。よ、というような説教をすればいいんだ。今は何もかもけじめがなくなつて、世の中おかし。それで自分のことも考えられなくなつて、占いの師のころへ来る。占いは安直な人生相談なんだ。占いの師にとっては、ありがたい世の中というわけだ。僕もいい時に商売してると思うよ。

人の弱みにつけ込む商売

二十九歳の時にこの商売をはじめた。二十五年だが、二十年早く生まれたら、同じ努力をしてもうはうまいかなかつただろう。最近足定年前のサラリーマンが易を習いに来るね。「第二の人生」対策だよ。

午前中は原稿書きも大きな仕事



占いの師はそれこそ玉石混淆だね。人の弱みにつけ込む商売だから、家を持って長く定着している人しか信用できないね。いかげんな奴はすぐ動いてしまふよ。今の占いの師でまともなのは、五十人もいるかどうかな。もつとも、今もつかつてゐるのは、医者や坊主、みな人の弱みにつけ込む商売だね。

「占いは易だけだ。僕は占いの師じゃない、易者だよ。寄席にたとえれば、易は落語。あとは紙切り芸みたいなものだ。普通の占いが「あたる」というのは、占われた人が占いの師の話をあやうく、五十人ものかどうかな。方角気学もどうかね。館山の殺アームで占いのメッキがはげたと話もある。まあ、都合のいい部分だけ利用しておけばいいという考えだ。

「行くしかないじゃないの。天中殺」っていうのは、テレビがブームを作ったんだ。あれは四柱推命でいう「空亡」のことで、無意味なものだ。「アーム」が弊害を伴うものとする、たしかに今は占いのメッキがはげたと話もある。まあ、都合のいい部分だけ利用しておけばいいという考えだ。

遊ばせ上手の

山代温泉

やましろ
山代温泉山代温泉観光協会
石川県加賀市 ☎(07617) 7-1144

冬の情緒豊かに...

加賀料理—
鴨じぶ、ずわい蟹総勢2,000名収容の大会議場
加賀市文化会館完成東京から4時間15分
大阪・名古屋から2時間30分
博多から6時間30分
●加賀温泉駅より車で5分東京から70分
福岡から75分
札幌から85分

◆ 附近の観光

那谷寺・安宅の関・兼六園・東尋常・永平寺
国定公園能登半島・国定公園加賀海岸

◆ 名物

九谷焼窯元・磯釣り・沖釣り

◆ 味覚

春...竹の子・夏...鮎・秋...松茸
冬...ブリ、タラ、カニ●片山津ゴルフ場●山代・山中ゴルフ場
車で15分
(附近にゴルフ場3ヶ所あり)

忘年会で生徒たちとくつろぐ 「易をやるとみんな人相がよくなるんだね」

易の前ではウソつけず

古いのは生年月日だけではかるのはだめだね。遺伝、環境、しつけの要素を見なくてはいいかん。易は卦の解釈と常識をあわせて判断するんだからこれらを含んでいる。占いに常識を加えると説得力が出てくるのさ。

きな意味がある。物事は何でも全体を捉えた上で、そのタイミングを見きわめることが大切だ。タイミングばかり考えていると、大本を見失う。逆もまた真なり。易は卦で全体を、爻で時と位置を示している。

易は自分のためのもの

占いは、結果を予測して有利なように行動するのだから人倫にもとると、後に学者は占いを否定するようになるのだが、朱子は「易は人のために占って疑惑を断ち切るためのものであり、大きなあやまりを防ぐためならいい」といつている。ただし、迷った時だけ占え」とね。

な常識が不可欠だね。蒙卦に「初めて筮する時は告ぐ。再三なればけがる。けがるれば告げず」とある。氣に入る答えがでるまで何度も占うことはしない。僕は何でも易でやるね。冷蔵庫に十日も入れておいたものでも易で「よい」となれば、かびがはえていても食べるし、「だめ」なら、何のにおいがなくても捨てる。易に忠実すぎるようだが、それぐらいでないとい易は相談相手にはなってくれない。

僕は易を信用している。もし易を読まなかったら、刑務所に二、三回は行ったかもねえ。頭もいいし、はしっこい。けんかも強いからね。それがこうしていられるのも、まったく易のおかげだ。クリスチャンは聖書に誓って本当のことをいうが、僕も易に手をつけて誓えといわれれば、本当のことをいうしかない。うちのかみさんは、ときどきそれを追るが、うしろに手をまわしたままこまかしてしまわ

何もうつかしいことは書いてない。たとえば「乾為天」という卦に「至るを知ってこれに至る、ともに機を言うべきなり」と説明してある。これはどういうことかという、一生懸命生きていく人間には、ふつとした助けがある。いくつものチャンスがある。一生懸命努力している人でなくては、目の前の話がチャンスかどうかさえわからない。努力していきながらチャンスがチャイムとわかる。受験勉強でも、一生懸命努力している人なら、どの程度の大学を受けられ

力より上をねらってみたい、どこでもいいという感じになる。これじやあ、大学へ行ってもしょうがないんだ。易はそういうことを言っているんだね。

易は自分のためのもの。占いは、結果を予測して有利なように行動するのだから人倫にもとると、後に学者は占いを否定するようになるのだが、朱子は「易は人のために占って疑惑を断ち切るためのものであり、大きなあやまりを防ぐためならいい」といつている。ただし、迷った時だけ占え」とね。

易は(一陽)と(一陰)を組み合わせて出来た八卦を、さらに上下に組み合わせた六十四卦でできているが(特集その1「易」の項48、49頁参照)、一つの卦をつくっている六本の棒、これが爻だが、その一爻一爻にも大

きな意味がある。物事は何でも全体を捉えた上で、そのタイミングを見きわめることが大切だ。タイミングばかり考えていると、大本を見失う。逆もまた真なり。易は卦で全体を、爻で時と位置を示している。

易は自分のためのもの。占いは、結果を予測して有利なように行動するのだから人倫にもとると、後に学者は占いを否定するようになるのだが、朱子は「易は人のために占って疑惑を断ち切るためのものであり、大きなあやまりを防ぐためならいい」といつている。ただし、迷った時だけ占え」とね。

易は自分のためのもの。占いは、結果を予測して有利なように行動するのだから人倫にもとると、後に学者は占いを否定するようになるのだが、朱子は「易は人のために占って疑惑を断ち切るためのものであり、大きなあやまりを防ぐためならいい」といつている。ただし、迷った時だけ占え」とね。

本誌・矢野直明
撮影・上森清二